

平成25年第2回福岡県後期高齢者医療広域連合議会（定例会）の結果

1 議員の出欠 出席28人（欠席6人）

2 議事の概要

(1) 広域連合議会選挙

- ・選挙 1件（選挙第2号）

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 選挙第2号 | 議長の選挙 当選人：奥村 守（遠賀町議会議長） |
|-------|-------------------------|

(2) 広域連合長提出議案

- ・原案認定 2件（議案第8号～議案第9号）

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 議案第8号 | 平成24年度福岡県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算        |
| 議案第9号 | 平成24年度福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 |

- ・原案同意 1件（同意第1号）

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 同意第1号 | 監査委員の選任について 松尾 勝徳 議員（小竹町長） |
|-------|----------------------------|

(3) 議案質疑

なし

(4) 一般質問（1件）

| No. | 氏名   | 市町村  | 要 旨   |
|-----|------|------|---|
| 1   | 藤沢加代 | 北九州市 | <p>1 後期高齢者医療制度についての「社会保障制度改革国民会議」の議論の動向と本広域連合の見解について</p> <p>後期高齢者医療制度存続の可能性が高まった中、今月には「社会保障制度改革国民会議」での議論がまとまる予定であるが、改めて本広域連合の見解を求める。</p> <p>2 平成26・27年度の保険料の見通しについて</p> <p>平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算では約164億円の剰余金が出ているので、これを活用して次期保険料の引き下げができるのではないかと見通しを伺う。</p> <p>3 短期被保険者証の発行について</p> <p>滞納者に対するペナルティである短期被保険者証の発行を中止すべきである。</p> <p>4 重複・頻回受診者訪問指導事業について</p> <p>昨年度から開始された「重複・頻回受診者訪問指導事業」について、保健師を派遣し被保険者の保健指導を実施することは歓迎するが、医療機関への受診回数を減らすことを目的とした保健師の訪問は中止すべきである。</p> |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  | <p>5 保険料の条例減免と一部負担金の減免適用の拡大について</p> <p>後期高齢者医療制度の保険料の条例減免適用は、国民健康保険と比較して極端に少なくなっている。一部負担金の減免に至っては皆無と言っても過言ではない。減免制度について積極的に周知し適用の拡大を図るべきである。</p>           |
|  |  |  | <p>6 受診率向上について</p> <p>本広域連合の受診率は全国平均24%よりもかなり低い状況にある。受診率向上を図るため受診者の自己負担金をなくすことを検討すべきである。</p>   |
|  |  |  | <p>7 広域連合議会のあり方について</p> <p>本広域連合議会の定数は現在34名である。全国的に見ると、議員定数は少なく、全ての構成自治体から議員を出すべきではないか。広域連合議会に住民の声を届きやすくするため、平成21年3月まで経過措置としてあった議員定数77名に戻すことを検討すべきである。</p> |

(5) 諸般の報告

① 広域連合議会議員の異動報告

新議員氏名：鷹木 研一郎（北九州市議会議員）  
藤沢 加代（北九州市議会議員）  
吉村 太志（北九州市議会議員）  
渡邊 元喜（広川町長）  
藤田 陽三（筑紫野市長）  
井本 宗司（大野城市長）  
金子 健次（柳川市長）  
大林 弘明（志免町議会議員）  
今富 壽一郎（吉富町長）  
奥村 守（遠賀町議会議員）  
田中 博文（飯塚市議会議員）  
平安 正知（小郡市長）  
高木 典雄（うきは市長）  
石川 潤一（大木町長）

② 例月出納検査（平成25年1月～平成25年5月分）の結果報告

③ 定期監査（平成24年4月～平成25年3月分）の結果報告